



2025年12月23日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 デ イ ア ・ ラ イ フ
代表者名 代表取締役社長 阿 部 幸 広

(コード番号 : 3245 プライム市場)

問 合 せ 先 取締役コーポレートストラテジーユニット長 秋田誠二郎

電 話 番 号 0 3 - 5 2 1 0 - 3 7 2 1

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会全体としての実効性を高め、その機能の向上を図ることを目的として、取締役会の実効性に関する評価を行いましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

1. 取締役会実効性評価の方法

2025年9月期を評価対象期間として取締役会の実効性を分析、評価するにあたり、すべての取締役及び監査役に「取締役会評価に関する質問票」を配布し、回答を得ました。

「評価項目」

- (1) 取締役会の構成
- (2) 取締役会の運営
- (3) 取締役会に対する支援体制
- (4) 取締役会の監督機能
- (5) 取締役会における議題内容の充実
- (6) 取締役会における議論の状況

2. 取締役会の実効性に関する分析ならびに評価結果の概要

上記評価項目による分析の結果、各質問事項に対する回答は概ね肯定的評価が多く、コーポレートガバナンス・コードが求める取締役会の役割・責務を適切かつ実効的に果たしており、当社取締役会の実効性は概ね担保されているものと評価いたしました。

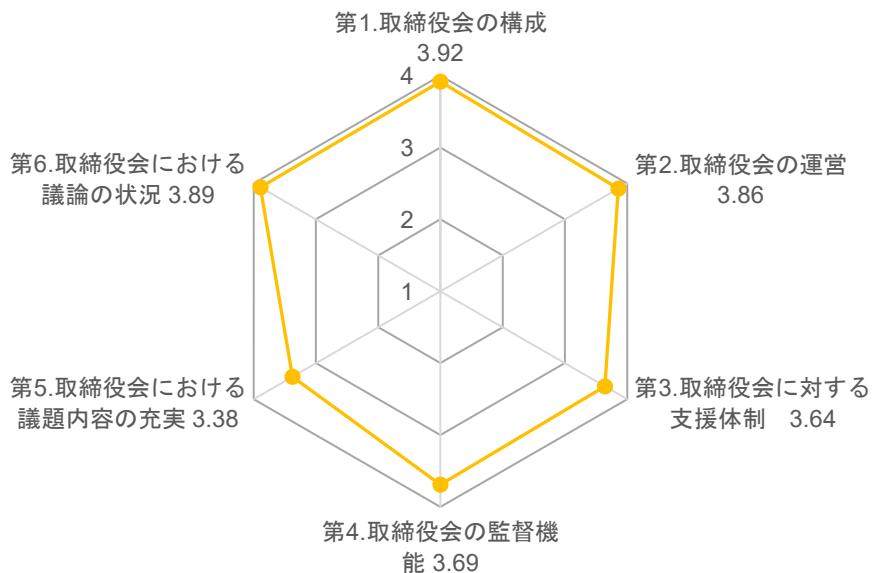
昨年抽出した課題の「企業戦略の大きな方向性を示す議題についての審議の深化」において、一定の改善がみられました。

今後、当社取締役会の実効性を更に高めるために、下記を取り組むべき主な課題として当社および当社取締役会として重点的に対応してまいります。

「取り組むべき主な課題」

- (1) 代表者の後継者の計画に関する議論の深化
- (2) 独立社外役員間の情報交換及び認識共有の強化
- (3) 気候変動などの地球環境問題への配慮、人権の尊重、従業員の健康・労働環境への配慮や公正・適切な処遇、取引先との公正・適正な取引、自然災害等への危機管理など、サステナビリティ（持続可能性）を巡る課題への議論の充実

2025年9月期 取締役会の実効性評価



3. 今後の取組

当社取締役会は、今回の取締役会の実効性に関する分析及び評価の結果を踏まえ、更なる実効性向上のために取り組むべき議題を抽出し、その対応策の立案と実施することで、コーポレートガバナンス体制の一層の強化とさらなる企業価値の向上を目指してまいります。

以上